

郷中だより



令和3年10月7日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第19号

体育会が二度の延期を経て、ついに10月6日、雲ひとつない青空の下で開催されました。1学期に各クラス（1年生は学年）で振り付けを考え、練習を始めたパフォーマンスが夏休みで中断しました。モチベーションが下がりがけたところへ、まん延防止のため再度延期になり、「体育会は本当にできるのか」という疑心が募り始めました。しかし、9月中旬から体育会に向けて気持ちを整え、全体練習や学年練習、係の打合せなどに取り組みました。また、気持ちを盛り上げるために、体育委員長さんが考えた「体育会を制す4つの心得」を毎回全校で唱和しました。そのおかげで、練習の回を重ねるごとに校内が体育会ムードになり、全校の心がひとつになっていきました。「絶対に体育会がしたい!」「頑張っている姿を見てほしい!」という思いや気迫が伝わってきました。

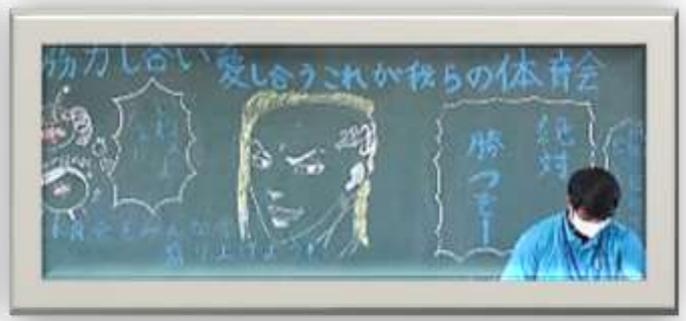
4日の予行演習では、全力でリレーを走り、本気のパフォーマンスを披露しました。「体育会がいよいよ本当にできる!」という実感とともに少しずつ緊張感が高まっていった様子でした。



体育会当日の朝、係の人たちは準備のために早く集合し、応援席を整え観覧席の掃除をし、会場の最終チェックや係の打合せをしました。



教室に入って一番驚いたのは、黒板に書かれた担任の先生からのメッセージでした。アニメの登場人物が上手に描かれていたり、学級目標が入っていたり・・・クラスへの思いと気合いが感じられました。



保護者受付では、PTA 役員さんたちにたいへんお世話になりました。綿密な事前打合せもありがとうございました。



生徒たちは競技や係の仕事に本気で取り組み、応援の態度も素晴らしかったです。1年生の初々しさの中に光る一生懸命な姿、2年生の満面の笑顔の中ににじみ出る成長、3年生の^{かんなろく}貫禄と後輩への思いやり、どの場面も「生徒が主役」でした。選手紹介のアナウンスのあとに応援席で沸き起こる拍手は、いつの頃からか郷内中の伝統になっています。今年も全体練習初日から3年生がリードし、先輩たちのよい伝統をしっかりつなぎ、とても温かい雰囲気を作ってくれました。2年生、来年は頼みますよ!

(裏面に続く)



生徒の感想

【体育委員長 3年 赤木さん】

今年の体育会は、みんなで声を出して心をひとつにして頑張れたのですごく楽しかったです。1年生から3年生までみんなが、体育会を全力で楽しんでいることが実感でき、とてもうれしかったです。そして、体育会を開催してもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

【体育委員 3年 小河原さん】

5月に体育会をする予定で、みんな一生懸命に練習に取り組んでいて、あと2日で本番だったにもかかわらず、新型コロナウイルスがまた流行し始め、体育会が延期になりました。ほぼ全種目完成していたので、すごくテンションが下がり、体育会への思いも薄れてしまいました。9月中に体育会を開催すると決まったものの、コロナが収まることはなく、再び延期になってしまい、さらに体育会への思いが薄れていきました。しかし、体育委員長の赤木さんや学級委員、生徒会を中心に学校全体に声をかけ、みんなの前に立ち、気合いを入れてくれました。赤木さんは、体育の授業があるたびに体育委員からの9月の目標の「体育会を制す心得」をマイクなしで言ってくれて、みんなすごく励ましてもらえたと思います。当日は雲ひとつない快晴で、3年B組のクラスパフォーマンスの途中にJアラートが鳴るというハプニングもありましたが、A組もB組も全力で楽しみ、一生懸命に戦い、最高の体育会にすることができたと思います。

当日、ご多用の中、ご観覧くださいました保護者の皆様、来場者カードや感染症対策に加え、温かい拍手で会場を盛り上げてくださり、ありがとうございました。また、日頃から、新型コロナウイルスの学校行事への影響を心配し温かく見守ってくださっている皆様、おかげさまで無事に体育会を終えることができました。今後とも御支援と御協力をよろしくお願いいたします。